

2015年8月3日
日本銀行富山事務所長
武田 英俊

事務所開設 70 周年を迎えて

日本銀行富山事務所は、8月1日に開設70周年を迎えました。

当事務所は、「日本銀行富山駐在員事務所」として、太平洋戦争末期の1945年（昭和20年）8月1日に北陸銀行の本店内に開設されました。この時期には、戦局の悪化により空襲等が激化していたため、日本銀行券（＝お札）の発行・流通を確実にを行うためには、金融機関との間で銀行券の受け払いを行う拠点を増やすことが適当と考えられました。当事務所は、当時のこうした状況を背景に開設されました¹。

ところが、開設当日の夜半（8月2日午前0時すぎ）からの空襲により事務室が焼失してしまいました。その後、焼失を免れた北陸銀行の一室を借り受け、9月1日から業務を再開するに至りました（昭和21年7月に「日本銀行富山事務所」に改称）。このように、波乱含みのスタートを切った当事務所ですが、その後は地元の皆様のご理解・ご支援を得て今日まで過ごして参りました。

小生が当事務所に着任して6週間ほど。当事務所の歴史と比べればほんのわずかな時間ですが、この短い間にも、沢山の地元金融界、経済界、公的機関の皆様とお話しさせていただく機会があり、皆様の富山県を愛する気持ち、そのために払っておられる努力には胸を打たれました。この70年の間、当事務所に身を置いた所員たちもまた、同じ印象を抱き、自らも地元へ貢献すべきとの思いを新たにしましたものと思います。小生もその歴史に連なる者として、こうした思いを引き継ぎ、少しでも当地へ貢献すべく努力したいと考えています。

富山県が誕生したのは、明治16年（1883年）ですので、今年で132年²になります。当事務所は、その半分以上の時間を地元の皆様とともに歩んで参りました。70周年を迎えた今、所員一同、思いを新たに未来への歩みを進めたいと思っています。引続き、地元の皆様のご理解・ご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上

¹ 因みに、弊行の国内12事務所のうち、当事務所を含む7事務所が終戦の年である1945年に開設しています（他の5事務所も1946年に開設）。

² 明治4年の廃藩置県の際に、旧富山藩が富山県となっていますが、その後、新川県、石川県の一部となる等の変遷を経て、1883年（明治16年）に現在の富山県が誕生しました。